

## 原料費調整制度による適用ガス料金の調整および ガス価格激変緩和対策事業による支援について (2023年4月検針分)

大東ガス株式会社は、「原料費調整制度」による2022年11月～2023年1月の平均原料価格に基づき、2023年4月検針分の単位料金を2023年3月検針分に比べ、1m<sup>3</sup>当たり -8.02円(税込み)調整させていただきます。

また、2023年2月より国(政府)による「ガス価格激変緩和対策事業」により約款等に記載した当該適用単位料金から、1m<sup>3</sup>当たり -30円(税込み)の支援が行われています。

これにより、1か月に31m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で、6,700円(税込み)となり、2023年3月検針分に比較して、249円(税込み)ガス料金が下がります。

なお、2023年4月検針分に適用するガス料金につきましては、当社の本社や営業所の店頭での掲示や3月の検針票であらかじめお客さまにお知らせいたします。

### ■一般ガス供給約款料金表

(※支援額を含みます)

(税込)

	1か月の ご使用量	基本料金 (円/件・月)	※適用単位料金		基準単位料金 (円/m <sup>3</sup> )
			2023年4月 (円/m <sup>3</sup> )	2023年3月 (円/m <sup>3</sup> )	
料金表A	0m <sup>3</sup> から 20m <sup>3</sup> まで	799.70	199.04	207.06	162.93
料金表B	20m <sup>3</sup> をこえ 80m <sup>3</sup> まで	1,289.20	174.56	182.58	138.45
料金表C	80m <sup>3</sup> をこえ 200m <sup>3</sup> まで	1,751.20	168.79	176.81	132.68
料金表D	200m <sup>3</sup> をこえ 500m <sup>3</sup> まで	2,979.53	162.64	170.66	126.53
料金表E	500m <sup>3</sup> をこえ 800m <sup>3</sup> まで	5,464.72	157.67	165.69	121.56
料金表F	800m <sup>3</sup> を こえるもの	10,288.43	151.64	159.66	115.53

### ■平均原料価格・原料価格変動額・基準単位料金単価調整額

	2022年11月 ～2023年1月	2022年10月 ～12月	基準平均 原料価格
平均原料価格(円/t)	130,450	139,380	56,160
LNG平均価格(円/t)	132,510	141,670	56,190
LPG平均価格(円/t)	88,680	93,300	53,100
原料価格変動額(円/t)	+74,200	+83,200	---
単位料金調整額(円/m <sup>3</sup> )	+66.11	+74.13	---
ガス価格激変緩和対策事業による支援額(円/m <sup>3</sup> )	-30.00	-30.00	---
支援後単位料金調整額(円/m <sup>3</sup> )	+36.11	+44.13	---

\*LNG平均価格、LPG平均価格は、ともに貿易統計値。

### ■標準家庭における影響

(税込)

1か月のご使用量 31m <sup>3</sup>	適用料金		増減
	2023年4月	2023年3月	
ガス料金(円/月)	6,700	6,949	-249
【参考】支援前ガス料金(円/月)	7,630	7,879	-249
差額	-930	-930	---

\*標準家庭ガス料金は、ご家庭1件あたり平均使用量/月(2012年～2016年の5か年平均)にもとづき算定しています。

## <参考>

### ■原料費調整制度の概要

- \* 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>当たりの単価)を調整する制度です。これにより、使用量が同じ場合でも原料価格の上昇時にはガス料金が高くなり、下落時には安くなります。
- \* 「基準平均原料価格(56,160円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>当たり0.0891円(0.081円に1.1(消費税)を乗じた値)単位料金が調整されます。
- \* 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- \* 原料費調整における平均原料価格の上限については、設定しておりません。

### ■単位料金調整額の算定方法(2023年4月検針分)

#### ・平均原料価格の算定

LNG平均価格(貿易統計値)	132,510円/t	× 0.9479	
+ LPG平均価格(貿易統計値)	88,680円/t	× 0.0546	
			<hr/>
			130,448.157
			↓ (10円未満四捨五入)
			130,450円/t

#### ・原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 56,160円/t からの変動額)

130,450円/t - 56,160円/t =	74,290円/t
	↓ (100円未満切捨て)
	74,200円/t

#### ・単位料金調整額(1m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定(支援適用前)

単位料金調整額 = +74,200円/t ÷ 100円 × 0.0891 = +66.11円 (小数点第3位以下切捨て)

#### ・単位料金調整額(1m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定(支援適用後)

66.11円 - 30.00円 = 36.11円

### ■電気・ガス価格激変緩和対策事業の概要

世界情勢を背景としたエネルギー価格の高騰による電気・都市ガス料金の上昇は、日本の社会に広範な影響を与えており、家庭や企業などの負担増加が見込まれます。

この状況に対応するため、国(政府)が国民のみなさまの負担緩和策として各小売事業者などを通じて、電気・都市ガスの使用量に応じた料金の値引きを行い、急激な料金の上昇によって影響を受ける家庭・企業などを支援する事業を実施するものです。

詳しくは

電気・ガス価格激変緩和対策事業 | 経済産業省 資源エネルギー庁

<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>

をご覧ください。